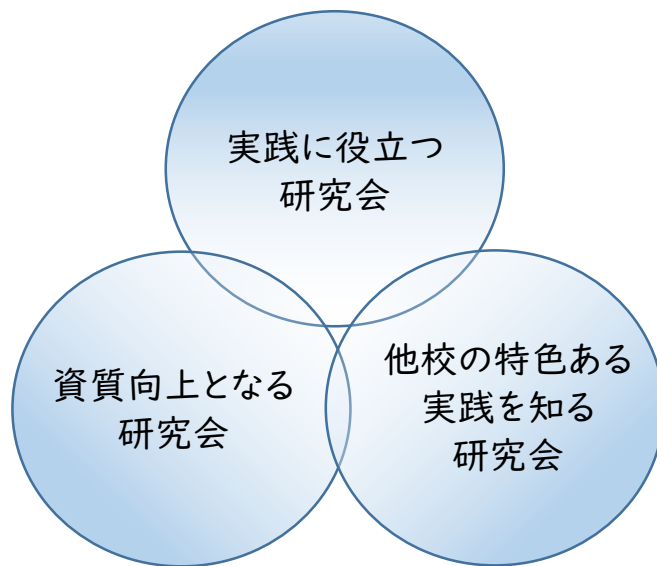


第44回福井県特別支援学校教育研究大会案内

○ 研究主題 ○

一人一人の自立を支え、生きる力をはぐくむ支援の在り方

福井県特別支援学校教育研究会
～3つの視点～



全体会

(兼 福井大学教育学部附属特別支援学校公開研究会)

令和5年8月9日(水)

<午前の部> 9:30~12:00

<午後の部> 13:00~14:40

福井大学教育学部附属特別支援学校

分科会

令和5年8月10日(木)

13:30~16:30

【会場】

福井県立南越特別支援学校

福井県立清水特別支援学校

福井県立奥越特別支援学校

主催 福井県特別支援学校教育研究会

後援 福井県教育委員会 福井市教育委員会

主管校 福井大学教育学部附属特別支援学校

今年度の研究大会について

令和5年8月 9日(水):全体会は、オンライン(Zoom)で実施します。

令和5年8月 10日(木):分科会は、集合型で午後に実施します。

全体会

【オンライン型】 令和5年8月9日(水)

	9:00	9:30	10:00	10:15	12:00
<u>午前の部</u>	受付	開会式 全体研究概要	休憩	学部研究会 (学部の実践と事例の報告・協議)	

	12:30	13:00	14:30	14:40
<u>午後の部</u>	受付	講演会 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 真部 信吾 氏	閉会式	

分科会

【集合型】 令和5年8月10日(木)

	13:00	13:30	16:30
受付	A 分科会:福井県立南越特別支援学校 B 分科会:福井県立清水特別支援学校 C 分科会:福井県立奥越特別支援学校		

全体会について

(兼 福井大学教育学部附属特別支援学校 公開研究会)

【オンライン型】 令和5年8月9日(水)

午前の部

9:00	9:30	10:00	10:15	12:00
受付	開会式 全体研究概要	休憩	学部研究会 (学部の実践と事例の報告・協議)	

【開会式】

挨拶 福井県特別支援学校教育研究会 会長
祝辞 福井県教育委員会

【全体研究概要】

主管校テーマ

『 一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメント 』
～子どもを出発点とした学びをデザインする～

本校では、子どもたち一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメントについて、福井大学から助言者として複数名の先生方を招き、御助言をいただきながら日々実践に取り組んでいます。

2年間で各学部を中心となる活動の捉え直しや主体的に取り組める活動づくり、また、中心となる活動とその他の活動とのつながりについても協議してきました。

3年次の本年度は、原点に戻り、「子どもマップ」をもとに、子どもの実態を丁寧に捉えるところから始め、どの活動で、どのように学びをつなげていくか、どのように子どもと一緒に学びをデザインしていくのかを考えていきます。そのための取り組みを紹介します。

【学部研究会】

以下の①～④の実践・事例の報告・協議会に分かれて参加していただきます。学部概要、それぞれの事例をお聞きいただき、事例児童生徒の実態の捉えについて、学びのデザインについて、活動作りや支援について協議を深めます。

小学部①・中学部②を希望された方は、2つのグループに分かれて協議していただく予定です。

【事例対象児】

①【小学部】

「安心して心地よく遊び、「好き」を広げる、深める」～6年生児童～

集団での活動や慣れない活動に参加しにくい6年生の児童。安心できる環境で友達や教師と場やものを共有し、言葉やものを介したやり取りを通して思いが伝わる経験を重ねていく。その中で、生活の幅が広がることを願い、本児が好きなことも手がかりにして、「好き」「してみよう」「もっとしたい」を見つけ広げていく事例。

②【中学部】

「自分の発意の実現を軸として、自己の視野や経験を広げたり集団意識を高めたりする」～3年生生徒～

活動に対して発意やアイデアはあるものの、他者に伝えられなかったり、行動に移せなかったりした生徒。様々な活動を通して、自分の発意の実現や他者の発意の受容、協働を経験し、他者とのつながりを感じ、自己肯定感を高めていく。その中で、自己の視野や経験を広げ、集団意識を高めて、将来に必要な力につなげていく事例。

③【高等部】

「様々な活動や人との関わりを通し、自己理解を深めて、自分を受け入れていく。～周りの力を借りながら一歩踏み出していけるように…～」～3年生生徒～

過去の辛い思い出から自分に自信が持てず、入学して2年間で自分の居場所や信頼できる人、やりがいを見つけて少しずつ力を付けてきた生徒。仲間との協働や学び合いの中で、自分の視野を広げたり、自分の強みも弱みも受け入れたりして、周りの力を借りながら自分なりの方法で一歩踏み出し、自己肯定感を高めていく事例。

④【高等部】

「好きなこと、得意なことを存分に生かし、広げながら、今と将来の『生活』をともに考える」～2年生生徒～

安心できる関係の中で自己調整し活動に取り組んできた生徒。様々な活動を通して教師とともに「自分」について考えながら自らの意志で行動を選択していく事例。

午後の部

12:30 13:00

14:30 14:40

受付	講演会 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 真部 信吾 氏	閉会式
----	--	-----

【講演会】

『知的障害教育における授業づくりと学習評価』

知的障害のある児童生徒に対する教科別の指導及び各教科等を合わせた指導において、授業の充実がどのように図られるか、また、評価の充実にどうつなげていくかを整理していただきます。

講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

主任研究員 真部 信吾 氏

略歴 山口県内の特別支援学校で、研究主任や特別支援教育コーディネーター等を歴任
やまぐち総合教育支援センター 研究指導主事、
山口県教育庁特別支援教育推進室 指導主事 を経て、
現在は、国立特別支援教育総合研究所研修事業部 資質向上支援担当 主任研究員
として、知的障害教育における教育課程や学習評価等の研究、自閉症支援に関する研究に取り組まれています。

【閉会式】

挨拶 福井県特別支援学校教育研究会 副会長

※ **午前の部**のみ、**午後の部**のみ、の 参加も受け付けています。

分科会について

【集合型】 令和5年8月10日(木) 13:30~16:30

13:00	13:30	16:30
受付	分科会	

会場 A 分科会 会場：南越特別支援学校

B 分科会 会場：清水特別支援学校

C 分科会 会場：奥越特別支援学校

A 分科会 南越特別支援学校

テーマ 生徒が「手ごたえ」や「喜び」を味わえる作業学習での授業づくり

協議の着眼点 ○コミュニケーションサンプルを用いた、生徒の見取りの仕方について。
○生徒が「手ごたえ」や「喜び」を味わえるための授業作りの取り組みについて。

内容紹介 中学部の「作業学習」において、生徒が手ごたえや喜びを味わえるための作業内容の設定や指導の工夫、コミュニケーションサンプルを用いた実態把握の仕方などについて、二人の生徒を対象とした実践を発表する。
グループ協議では、実際の作業学習の動画を視聴しコミュニケーションサンプルを採って協議する。

助言者 日本ポーテージ協会 スーパーバイザー 小坂 正栄 氏

B 分科会 清水特別支援学校

テーマ 一人一人の「わかる」「できる」「やりたい」を大切にした授業づくり
～障がいの重い生徒の作業学習を考える～

協議の着眼点 ○一人一人の「わかる」「できる」「やりたい」を大切にした作業学習について
○各校における障がいの重い生徒の作業学習について

内容紹介 高等部では、一人一人の実態や特性をふまえて、「わかる」「できる」ための内容や教材・教具を考え、支援方法を工夫して、「やりたい」気持ちを育てるための授業づくりを行ってきた。前半は、事例を交えながら、その取組を紹介する。後半は、各校が作業学習で使用している教材・教具を紹介し合いながら情報交換を行う。

助言者 平谷こども発達クリニック 社事業所はぐくみ
就労継続支援B型事業所 Rose&Farmはぐくみ サービス管理責任者 小八木 隆 氏

C 分科会 奥越特別支援学校

テーマ 子どもの思いや願いを軸にした学びを支える取り組み

協議の着眼点 ○子どもの「こうなりたい」「やってみたい」といった願いや思いを育むために、どのように支援しているか。

内容紹介 本校中学部では、日々の実践を「主体的な学び」の視点から省察し、子どもの思いや願いを軸にした授業改善に取り組んできた。前半はその取り組みを紹介する。後半は、各校より子ども自身の思いや願いをどのようにとらえて授業実践につなげているかについて紹介してもらい、「主体的な学び」を支えるための支援について協議する。

助言者 福井大学連合教職大学院 准教授 笹原 未来 氏

大会参加申込について

申込締め切り 7月6日(木)

- 大会参加につきましては、Google アカウントが必要になります。
- 全体会は Zoom を使用しますので、事前にインストールをしてください。
- 主管校ホームページに、Google アカウント、Google ドライブ、Zoom 利用についての説明がありますので必要に応じてご覧ください。
- 全体会や分科会への参加申し込みは、大会案内と一緒に添付された参加申込書または、主管校ホームページから参加申込様式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メールにて申し込みください。

※メール送信の件名には、「大会参加申込(所属名)」とお願いします。

○申し込み記入の必要事項

- ① 氏名(フリガナ) ② 所属(学校名など)
- ③ 所属先電話番号 ④ 職名
- ⑤ メールアドレス(Google アカウント。事務局からは、このアドレスに送信します。申込者、個々のアカウントのご記入をお願いします。)

⑥参加希望研究会

8月9日(水) 全体会 (①小学部/②中学部/③高等部/④高等部/
⑤講演会のみ)

8月10日(木) 分科会 (A 南越/B 清水/C 奥越)

- 参加対象 県内外の教職員
- 参加費 無料(通信費等は参加者負担です。)
- 申込先 主管校事務局メールアドレス: fukui-dt01+futoku04@fukui-ed.jp
Tel: 0776-22-6781

- 主管校(福井大学教育学部附属特別支援学校)ホームページ URL
www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi

全体会参加の方へ

- 申し込みが確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 大会当日の Zoom URL、当日の資料についての案内は、8月1日にメールにて送付いたします。

分科会参加の方へ

- 申し込みが確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 各分科会担当校から、事前アンケートの送付がありましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 当日の資料等の配付連絡については、8月上旬に各分科会担当校からメールにて連絡します。
資料は各自で印刷し、当日お持ちください。

欠席連絡について

申し込み後、やむを得ず欠席されることになった場合は、下記のとおりにご連絡ください。

- 7月末までの欠席連絡は、大会事務局にお願いします。

事務局メール： fukui-dt01+futoku04@fukui-ed.jp

※所属・氏名・参加予定研究会を明記してください。

- 8月以降の欠席連絡は、全体会は事務局へ、分科会に関してはお手数ですが、各分科会にご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

事務局・全体会

福井大学教育学部附属特別支援学校

TEL 0776-22-6781 fukui-dt01+futoku04@fukui-ed.jp

(担当)五之治多美教頭・今井理恵子

分科会 A

福井県立南越特別支援学校

TEL 0778-27-6600

(担当)大西 史江

分科会 B

福井県立清水特別支援学校

TEL 0776-98-3650 n-takahashi-24@ma.fukui-ed.jp

(担当)高橋 紀子

分科会 C

福井県立奥越特別支援学校

TEL 0779-88-0050 c-higashikawa-uc@ma.fukui-ed.jp

(担当)平鍋 千晴